

# 被災者支援情報共有システムの概要

## 【目的】

大規模災害時に被災され、自宅や避難所、自主避難先での待機等を余儀なくされる被災者について、持病等が悪化し、災害関連死に至ることのないよう、医療的ケア等のニーズを把握し、速やかに医療につなげるための仕組みづくりを行う。

## 【過去の被災地支援での課題】

- ・ 都道府県、市町村間の連携体制不足、都道府県と支援者側との情報共非効率（すべて紙ベースの調査票）
- ・ 災害関連死が増える中で、被災者に応じた食料や物資等の配布に加え、健康に関するきめ細やかな支援が必要。

## 【対応】

- ・ 被災自治体と応援派遣団体（官民間問わず）間で情報共有ができるクラウドツール（アプリ等）を導入し、支援を必要とする被災者に関する情報を効果的に収集、一元管理できるシステムの構築。

## 《保健所保健医療調整本部（DHEATを含む）でのシステムイメージ》

